

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和8年2月20日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	一般財団法人神戸観光局 港湾振興部
所在地	〒650-0042 兵庫県神戸市中央区波止場町2番2号神戸海洋博物館内
代表者役職・氏名	専務理事 岡田 宏二
担当者連絡先	電話：078-327-8981 (担当：土山)
	メール：info-meriken@kcva.or.jp
ウェブサイトURL	https://www.kobe-meriken.or.jp/about/sdgs/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要









<p>旧神戸港振興協会は、神戸港の発展を促進する推進母体として昭和33年9月に兵庫県・神戸市・神戸商工会議所・港湾関係業界等によって設立された社団法人。平成31年4月1日に、一般財団法人神戸観光局と統合し、「港湾振興部」として今後も神戸港の繁栄を目指して事業を継承してまいります。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・神戸港のプロモーションと情報発信・市民と港を結ぶイベントの開催・クルーズ客船の受け入れ、おもてなし・旅客ターミナル（「ポートターミナル」、「中突堤旅客ターミナル」）の管理運営
--

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	業務の効率化及び環境配慮を達成する手段としてDXの推進	・クラウド移行によるペーパーレス化 ・アウトソーシングの活用による残業時間の削減
□環境 □社会 ✓経済	地元経済の活性化	・客船受入や市民と港を結ぶイベント開催を介して、地元の文化的・経済的発展に寄与
✓環境 □社会 □経済	環境保全についての啓発活動の実施	・イベントや広報活動内での環境保全啓発運動の企画 ・事務所内のLED化

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・ハラスメント防止研修の実施					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント防止研修の実施 ・内部通報制度の導入					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8							16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・時差出勤、テレワーク、フレックス制度の導入 ・アウトソーシングの活用による残業時間の削減 ・【予定】有給取得率の向上									8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・熱中症対策ガイドラインの策定 ・事務所のフリーアドレス化			3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・ストレスチェックの実施 ・産業医の導入			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・女性職員の割合45% ・【予定】男性の育休取得率向上のための啓発活動					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・各種研修制度(コンプライアンス・情報セキュリティ) ・資格取得助成制度の導入 ・階層別・職能別研修の実施 ・【予定】職員スキルアップ講座の実施(IT、語学等)				4	5.5				8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5				8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・VDT検診の実施 ・産業医の導入 ・インフルエンザワクチン助成制度			3						8								
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	・イベント開催時のごみ分別の徹底 ・資料の電子化によるペーパーレス化 ・裏紙利用、マイボトル利用による資源の削減 ・管理施設のLED化 ・海洋プラスチックゴミを再生利用した製品の利用 ・【予定】クラウド導入によるペーパーレス促進 ・【予定】事務所内のLED化											11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・クールビズ、ウォームビズの推奨 ・こまめな消灯の呼びかけ									7.3					13			

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																				
13	【温室効果ガス】 ・ 自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・ 公用車の削減 ・ イベント時使用フォークリフトの電動化 ・ 【予定】公用車のエコカー化								7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・ 法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9				6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ メリケンパーク清掃活動(毎月第2月曜日) ・ イベント時ごみ分別の徹底 ・ 環境にやさしいバルーンの利用 ・ 環境にやさしい色粉の利用 ・ 森林認証紙の利用							6.6								15			
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる								6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9				6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる									7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる														12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9										12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している																		9	
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・ 海洋プラスチックごみを再利用したノベルティを作成								6					12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・ 神戸市内の小学3年生を対象とした港の学習会実施 ・ 情報誌内での港の仕事情報掲載による海事人材の確保 ・ 港運事業関係者を対象にした神戸港フォークリフト荷役技能向上大会の開催	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

